

都市再生整備計画(第4回変更)

しょうなん 湘南 しゅうへん ライフタウン 周辺地区

かながわ 神奈川県 ふじさわし 藤沢市

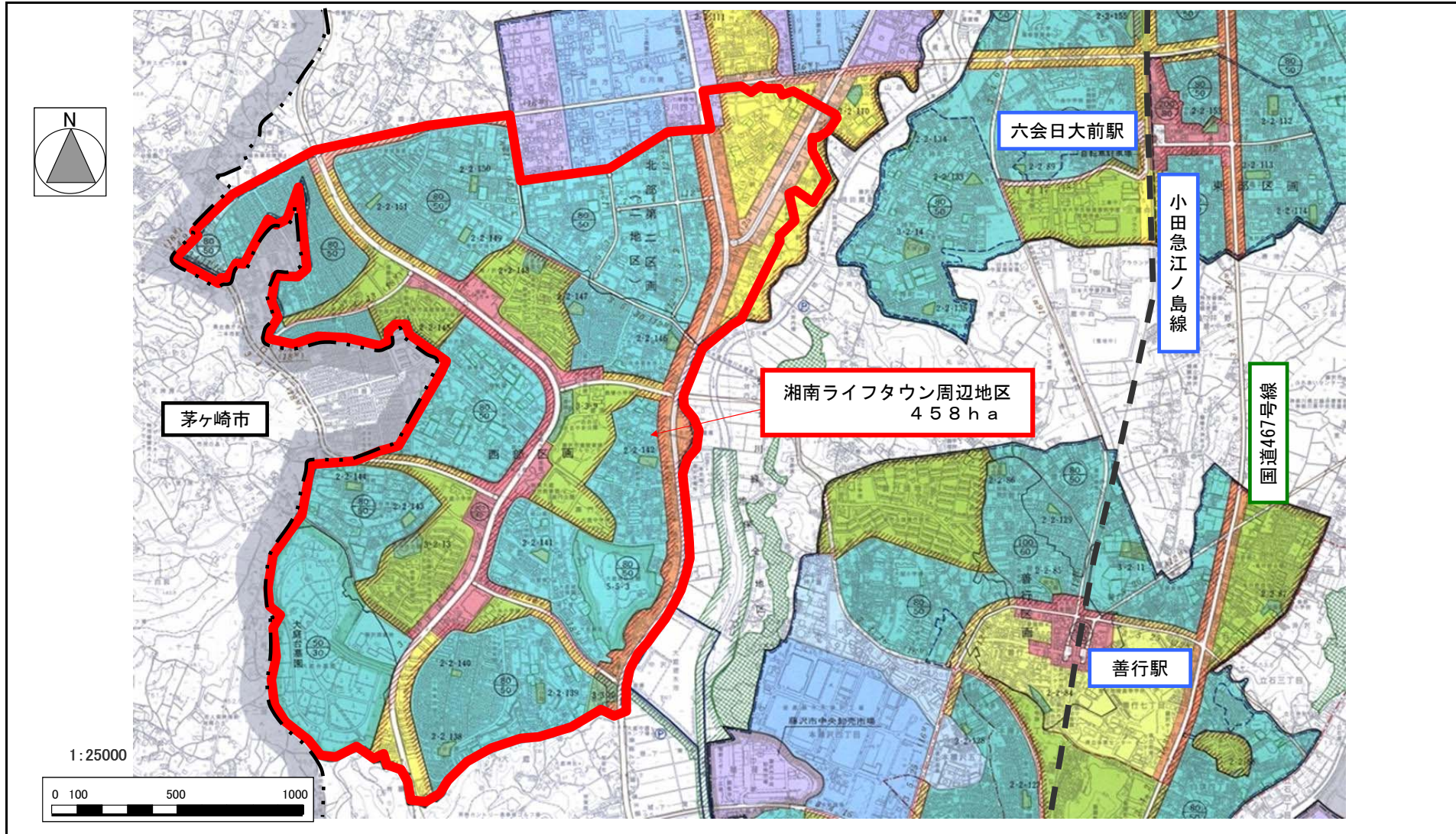
平成21年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの拠点となる保健医療センターの整備充実を図る 健康づくりウォーキング、健康増進施設、休息場所の確保として、新たな公園整備と共に既存公園・歩行者専用道のバリアフリー化等リニューアルにより人にやさしいまちづくりを図る 	<p>基幹事業：公園事業（鍛冶山公園、下ノ根第一公園、大庭城址公園、遠藤公園、大庭丸山公園） 基幹事業：道路（湘南大庭35・57・58・68号自転車歩行者専用道） 提案事業：保健医療センター整備事業</p>
<p>○安全で安心して住み続けられる基盤を整備する</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅環境整備として、滝の沢市営住宅の浴室ユニット化を図る 公共交通の充実を図るため、バスを機軸とした新たな公共交通システム（連節バス）の導入に向けた調査、施設整備を行う 藤沢市地域防災計画に避難施設として位置づけられている小中学校屋内運動場の耐震補強を実施することにより災害時の市民の安全確保を図る 	<p>基幹事業：公営住宅整備事業 基幹事業：道路（辻堂駅遠藤線） 基幹事業：地域生活基盤施設事業（大庭小学校、滝の沢小学校、大庭中学校屋内運動場） 提案事業：連節バス導入調査 関連事業：（県警・市・神奈中（株））辻堂駅遠藤線 PTPS事業</p>
<p>○住民参加によるまちづくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園ワークショップ事業により行政と住民協働で整備原案を作成し、引き続き住民自ら手で守り育てる維持管理活動（公園愛護会）の設立を促す くらしまちづくり会議により自転車歩行者専用道のリニューアルについて住民協働で整備案の作成を行う 	<p>関連事業：公園ワークショップ・愛護会育成事業 関連事業：くらしまちづくり会議活動事業</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○湘南ライフタウンより数年（1971年）先行して入居が始まった巨大な多摩ニュータウンに様々な現象・課題が現れ、似通った問題が発生しています。 ・多摩ニュータウン多摩市域では高齢化とともに人口が減少し始めています。湘南ライフタウンでも市民分譲してきた地区は、平成12年基礎調査での5年間増減数では3桁の減少傾向が現れ始めています。また高齢化に関しても年齢構成が49歳～58歳が全市平均より4.5%多く一気に高齢化が進みます。 ・住み続けたい居住者は両タウン共に高い比率で約8割程度となっていますが、湘南ライフタウンのまちづくりに関する市民要望で多いのがバスの充実と、バリアフリー化です。今後は、くらしまちづくり会議等を通じ、さらに暮らしやすさを追求するための意見提案を出してもらい、まちづくりに反映させます。 ○住民参加による環境改善活動 ・周辺地区内の矢向・南永山公園については公園愛護会が定期的に公園清掃を行っています。 ・湘南大庭フォーラムでは、湘南大庭地区生活環境協議会（全市で地域環境美化を目的にした地域自主組織）と協力し、ポイ捨てなくし隊（ゴミの収集活動）と落書き防止隊を編成し活動を行っています。 	

都市再生整備計画の区域

湘南ライフタウン周辺地区(神奈川県藤沢市)	面積	458 ha	区域	藤沢市 石川一丁目, 石川三丁目, 石川四丁目, 大庭の一部, 遠藤の一部,
-----------------------	----	--------	----	--



湘南ライフタウン周辺地区(神奈川県藤沢市) 整備方針概要図

目標	住み続けられ、うるおいあるまちづくり	代表的な 指標	保健医療センター来庁者数 (人)	27,547	(H15年度)	→	30,000	(H19年度)
			環境改善参加ボランティア数 (人)	4,810	(H15年度)	→	12,000	(H19年度)
			防災に関する市民満足度 (点)	605	(H16年度)	→	650	(H21年度)

